



聖徒のための情報誌

今月号の内容

お盆を迎えるにあたって 霊断師養成講習会を開催(1面) 第50回記念 全国聖徒団結集身延大会感想文(2面) 暑中お見舞い(3面・4面) 日蓮大聖人の歩まれた道(5面) 全国のよろこびちゃん よろこび法話(6面)

平成27年(2015年)8月1日(土) 8月号

発行所 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-25-11 九段中央ビル702 日蓮宗霊断師会九段事務所 電話 03-6272-9340 FAX 03-6272-9341

日蓮宗霊断師会

会長 末吉 観道 編集人 松本 恵昌 購読料 1部 100円(税別) 毎月1回1日発行

日蓮宗霊断師会ホームページ http://www.yorokobi-reidanshikai.jp よろこび投稿メール yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

お盆を迎えるにあたって



日蓮宗霊断師会 教務部長 大分県大分市妙親寺聖徒団团长

廣田 学良

お盆は神通第一の目連尊者が、慳貪(むさぼり)の科によって餓鬼界で苦しむお母さんを救う故事から始まる仏教行事であります。自らの神通力では叶わず、お釈迦さまの導きを仰ぎ、百味飲食を聖僧に施しお母さんを救うことができたことがその由来になっていきます。

さて、死後の苦しみと言え、かつてこのような体験があったことを綴らせていただきます。

それはある篤信の女性からの電話でした。数日前から夜、決まった時間に背中を錐でもまれるような激痛に苦しめられる。そのためか、左手のひらがローソクを流したように白く変色している。何か普通のことではないように思われる。助けてほしいと言ったことではありません。

自坊から車で一時間半、農村に住む女性を訪ねて祈禱をいたしませんと不思議なことに、目を閉じたまま女性が語り始めました。これは、この人が私の家の近くの田圃で仕事をしていたので懐かしく思



い、何と言う理由はなく一緒に来た。自分はもうこの世の者ではない。家庭の不和にいたたまれず辛い臨終を選んだ。今、自分は暗い所にいるのです。ところが霊なる方には救いを求める言葉も、またこの女性を苦しめていると言う自覚もありません。しかし、それによって毎夜苦しめられる女性にとっては耐え難い日々でありました。

私は霊なる方に女性の苦痛を伝え、ありがたい法華経を聞き、お題目で成仏してほしいことを切々と告げました。すると女性を通じて

※仏さまの所にいきたい。仏さまはどこにいますか。 ※お経だからありがたいのではありません。と尋ねるので、私には悲しさと、この唐突の質問に窮しながら、とにかくこの女性から遠ざかってほしいと告げ、無我夢中でお題目の力に縋りました。霊なる方がどのように理解し納得したのか。法華経の説く霊山浄土へいかれたのかどうか。それでもありがたいことに、その日を境に女性の抱える塗炭の苦しみが止み、全快したのであります。

しかし、私にうったえた切実な問いは耳に残り、私の非力としてずつと離れることはありませんでした。今、振り返れば、御本仏さまが、当

時の私に生涯の課題をつきつけたのではないかと思える貴重な体験であります。そして同時にこれ等の問いは、今を生きる私たちの問いでもあり、仏教諸宗、更には宗教全般に逼る根本的な問いかけであるのではないのでしょうか。

日蓮大聖人さまは『孟蘭盆御書』に、目連尊者の利己心、お母さんだけを救う狭小な精神が思いがいであったことを述べられ、平等大慧の法華経の教え、共に救われるお題目の信仰こそ仏教の心髄であると教示下さっています。

ご存知のごとく、この世界の仕組みは諸法無我、縁起(支えあう、総和)によって成り立っています。従って、自分だけが得をし、自分だけが幸福であればと言う他を顧みない料簡は、一時の儂い砂城にすぎません。目連尊者のお母さんも、そして死後、仏さまを求めた霊なる方も法華経・お題目に無縁であったが故に、生前の心がなした苦しみを背負うことになったのでしょうか。

このように考えますと、正しく生きる道標が人の上にも、社会の上にもいかに大切であるかが心に染み込めます。

どうかお盆の月にかぎらず、"あたたかい心"で過ごし、"あたたかい心"で仏心と仏心を紡ぐ、このような心持ちでお題目を唱え、本来の自分を輝かせましょう。そして、この教えが法華経のありがたさであり、日蓮大聖人さまが大曼荼羅に秘められた仏さまと共にある光明の世界なのであります。

浄土といひ、穢土というも土に二つの隔てなし。ただ我等が心の善悪によるとみえたり。(一生成仏抄)



新霊断師誕生

大聖人が九ヶ年間に、心安く法華経を誦読された身延山。

本年も六月九日(十七日)(八泊九日)、山内の智寂坊様で霊断師養成講習会が開催され、新霊断師七名が誕生した。

講師陣は熱い思いで教学講義・霊断法実習の講義をされ、受講生は夜も先生に質疑をし、勉学に励んだ。最終日には、本山の朝勤に出て、御廟所において日蓮大聖人様に無事講習会終了の報告をした。

閉講式では、末吉会長より霊断師の任命を受け、受講生を代表して岩手県・東是宏上人が「この講習会で学んだ教学・霊断法をもって多くの檀信徒を聖徒に導き、上求菩提・下化衆生の心を持ち精進します」と誓いを述べ、受講生全員、自身に満ち溢れた姿で各自布教の地に羽ばたいて行った。



末吉会長より任命を受ける新霊断師



身延山大本堂にて

津軽宇田山 間法寺 毎朝5時半より「朝勤祈禱会」 8月30日(日)「盛運祈願会」 8月15日 午後2時より 「お盆流し灯籠供養祭」 8月1日・2日 シーサイド in 寺子屋2015 〒030-1403 青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2 TEL 0174-25-2712 住職 工藤 堯幸・副住職 工藤 堯慎

妙正寺聖徒団 相川 千恵里 毎月1日午前10時 盛運祈願会 8月15日(土) 孟蘭盆大塔婆施餓鬼供養会 北海道妙正寺聖徒団 〒071-1423 北海道上川郡東川町東町2丁目6-3 TEL 0166(82)2714 FAX 0166(82)2914

美濃乃國 常唱寺 聖徒団 〒501-3734 岐阜県美濃市千畝町2738-2 TEL/FAX 0575(33)1430

妙顕寺 天目聖人御報恩 平成屋根等大改修 ご寄付募集中! 郵便振替 口座番号 00180-6-267327 口座名義 妙顕寺建設委員会 〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264 TEL 0283-22-1524 FAX 0283-22-4194 http://www.sano-myokenji.jp

日蓮宗霊断師会終身名誉会長 感通寺聖徒団团长 新聞 智雄 〒162-0044 東京都新宿区喜久井町39 TEL 03-3209-8782 FAX 03-3208-7966

日蓮宗霊断師会 第50回記念

全国聖徒団結集身延大会 (5月23~24日)

日々の精進を誓う

まだ春だというのに真夏のような太陽の光林立する団旗の群れ、常唱殿の庭に集う人々：開会宣言に続いてお題目とウチワ太鼓に合せ肅々と御草庵跡、御廟所へ：

身延山へは何度か参詣していましたが、わが菩提寺圓融寺聖徒団として初めて参加した時の光景、第二十七回結集大会でした。

「日蓮が弟子且那等はこの山を本としてまいるべし、これ霊山の契りなり」

あれから二十三年、圓融寺聖徒団として一度も欠かすこと無く第五十回記念大会にも元気で参加が出来ました。過去二十四回を振り返ってみますと、本堂内の法要はもちろんのこと本堂前で風船を飛ばした事、節目の記念大会には万燈や花火の打上げ、三門での千燈供養、唱題行、本堂での法要後大雨に見舞われ皆さんにお世話になったこと等々、当時四十代で参加した人も六十、七十代になりました。しかし昔と違い便利な世の中、まだまだ元気で若い人達を誘って参加する予定です。

毎月菩提寺での盛運祈願祭、本堂内に朗々とひびくお上人の読経に合せ、礼拝文から始まり最後の四誓願を読むとき、自分の行動と合わせて精進を誓う毎日です。



兵庫県 圓融寺聖徒団
斎藤 永尚さん



愛知県名古屋 本成寺聖徒団
岩越 日出男さん

晴れ晴れとした団旗観閲式
本成寺聖徒団から天野行淳団長以下八名が参加しました。

私は、平成二十四年から参加し、今年で連続四回目です。今年も過去三回には無かったことが、五月二十三日(土)夜の三門前行事でありました。その中で、ソプラノ歌手の米澤実花様の歌の奉納はとても素晴らしいものでした。また、花火の打上げは三門前に集まった私たちの真上に上がり、花火の楽しさを満喫させてくれました。

五月二十四日(日)の大本堂行事では、聖徒団団旗の旗手・介添えの一人として、団旗の入場に携わらせていただき、晴れがましい気持ちを感じました。また記念法話は毎回楽しみにしておりますが、今年も建光行上人から興味深く楽しく拝聴させていただきました。ありがとうございました。

霊断法と「南無妙法蓮華経の道を持ち・行い・護り・弘めたてまつらん」を信じ唱題行をしてまいりたいと強くお誓いし、一人でも多くの方に信仰の大切さを弘めて行きたいと思いをしました。



千葉県 法光寺聖徒団
平山 武さん

ご縁をいただきました

今回、運命か必然か親の代わりで日蓮宗霊断師会第五十回記念大会への参加と七面山に登る事に成りました。

普段は、こういった行事は親任せだったので初めて参加しましたが、全

身延大会に行ってきました！ 全国の聖徒さんから沢山の参加感想文が届きました



新潟県 本妙寺聖徒団
小林 公美子さん

信仰を伝えていきたい

身延山の参詣は毎年欠かさずさせて頂いておりますが、身延大会には約十年ぶりに、そして記念すべき第五十回大会に参加させて頂き感激の気持ちでいっぱいです。

夜の三門での唱題行は涙が出て止まりませんでした。そして花火はとても力強く「これからも頑張れよ」と励まされているようでした。

二日目の法要・法話はお題目を一回でも多くお唱えし、法華経の信仰の功德など確信することが出来ました。これからも俱生神月守を着帯し、

完治を祈願しようと、齋藤龍健団長と十八名全員で心一つになり山門に向かいました。竹燈籠に明かりが灯され、唱題修行では日々の御守護を感謝し、願いが届くように、力強く大きな声で唱えました。

最後の花火は、とても感動的でした。今回参加できなかった方に、この感動を伝え、来年は元気になった方々と一緒に参加したいと思えます。



岩手県 仙寿院聖徒団
八幡 幸子さん

大震災を乗り越えて

(略歴) 仙寿院檀徒で大震災被災者。小さい

な地元密着型スーパリーの経営者。舅夫婦が地元から出土した観音像を祀る祝田観音堂の管理者で、地域の信仰上の先達のな聖徒さん。

(感想) 大震災以来、来たいと思っ

ていたが、お店や地域の復興を優先して、なかなか来ることができませんでしたが、今回来てみて日々感動でした。

日常お題目を唱え手を合わせておりましたが、その心の区切りというか、自分の信仰の確認をすることが私の身延大会参加でした。

しかし大震災は全ての物や人を消滅してしまい、心に空いた穴はなかなか埋めることが出来ずいました。今回参加して、亡くなった方の分まで日蓮大聖人様に信仰のご報告ができたことは、生きて良かったと実感するとともに、感動という言葉に尽きると感じます。

感動の身延大会でした。今回、初めて参加いたしました。私達聖徒団は、唱題修行を行う前龍音寺聖徒団の中で、病氣、怪我をされている方の為、病氣平癒、怪我

全国の聖徒さん紹介



島根県 法恩寺聖徒団
松本 光吉さん

いまから十五年ほど前、父親また最愛の妻が立て続けに亡くなったことをきっかけに、県外から故郷に帰って来られました。

家から法恩寺は目と鼻の先。長らく故郷を離れていた事もあり、地域に馴染むことができない不安もありましたが、帰ってすぐお寺の青年会に入り、県外にいる時からずっと俱生神月守を送ってもらい着帯していた縁があり、盛運祈願会に参加することで、すぐに溶け込めることができました。

これも何かの縁、おかげであると感じ、いまは法恩寺の行事に全て参加し、青年会の会長や



行事を手伝う松本さん

今回は地域の人に声を掛けて、大勢で来たいと思います。



岩手県 仙寿院聖徒団
川崎 和弘さん

子供や孫に伝えていきたい

(略歴) 子供の頃から両親とともにお寺にお参りしている檀徒。仙寿院青年部創部以来の聖徒団役員。地元釜石市の企業に技術者として定年後も勤務中。

(感想) 花火に感動して、参加者の歓声に更に感動しました。その花火の前に一心に唱題行を行わせていただいたことで、素直になった心があったことが、より心に残る感動となった

と思います。大本堂では厳粛な法要に参加させて頂いていただいて、これもまた静かな感動でした。私も両親に連れられてお寺にお参りするようになり、信仰の心を学びました。幾多の困難を乗り越えたのもそのお蔭と思っています。信仰の心を子や孫に伝えて行こうと心新たにいたしました。

花火協賛者名

- 〈二万円〉 新潟県 本妙寺聖徒団 一口
- 〈一万円〉 岐阜県 常唱寺 (株)日之出電気 鈴木 司 一口

お詫び
七月号花火協賛者名にもれがありました。

暑中お見舞い 申し上げます

～日蓮宗霊断師会～

日蓮宗霊断師会終身名誉会長
感通寺聖徒団团长

新間 智雄

副团长

新間 正興

〒一六二〇〇四四
東京都新宿区喜久井町三九
TEL〇三三三〇九一八七八二
FAX〇三三三〇八七九六六

日蓮宗霊断師会終身名誉顧問
妙本寺福德聖徒団团长

吉田 亮善

〒六九一〇〇四二
島根県出雲市十六島町二五二
TEL〇八五三三六六〇五六八
FAX〇八五三三六六〇五七一

日蓮宗霊断師会会長
利生寺聖徒団团长

末吉 観道

副团长

末吉 正道

〒九三〇〇〇五五
富山県富山市梅沢町三一六一〇
TEL〇七六一四二二一八七七六
FAX〇七六一四二二一八二五〇

日蓮宗霊断師会副会長
真浄寺聖徒団团长

建 光行

〒八七一〇七一六
大分県中津市山国町中摩六三一五
TEL〇九七九一六二二七三三六
FAX兼用

日蓮宗霊断師会副会長
正蓮寺聖徒団团长

大塩 孝信

〒二九〇〇一五一
千葉県市原市瀬又一三〇四一
TEL〇四三六五二一〇二〇七
FAX〇四三六五二二二八八

日蓮宗霊断師会副会長
仙寿院聖徒団团长

芝崎 惠應

〒二六〇〇二二
岩手県釜石市大只越町二一九一
TEL〇一九三三三二二六六
FAX〇一九三三三二二五〇

日蓮宗霊断師会霊断院副院長
妙福寺聖徒団团长

野澤 壯監

東日本大震災等種々災害被災地被災者の復興を心よりお祈り申し上げますと共に全国聖徒団の法運隆昌をお祈りいたします
〒三三九一三三三
栃木県さくら市馬場一〇八一

日蓮宗霊断師会代表者会議議長
実相寺聖徒団团长

松永 慈弘

〒三三三〇〇〇四
埼玉県川口市領家二一四一
TEL〇四八二二二二四五六六
FAX〇四八二二二二六八〇七

日蓮宗霊断師会本部長
本成寺聖徒団团长

天野 行淳

〒四六五〇〇一四
愛知県名古屋市中区上菅一三〇三
TEL〇五二七七七一七四七四
FAX〇五二七七七一七五七二

青森県聞法寺聖徒団

住職 工藤 堯幸 副住職 工藤 堯慎
執事 工藤 堯顯 護持会長 最上 一
総代 宮田 博光 木浪 達義
信託会長 最上 誠規 副会長 松山 涉
青森聖徒 掛村 隆二
外信徒一同
〒三〇三〇一四〇三
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元字田五十二
TEL〇一七四二五二七二
FAX〇一七四二五二六〇七

法華寺聖徒団团长

阿部 是秀

霊断師 阿部 是眞
霊断師 菊池 妙栄
霊断師 前川 是調

〒〇二八〇三〇四
岩手県遠野市宮守町下宮守三一六九一
TEL〇一九八六七三二六六
FAX〇一九八六七三二二七
『心といのちの相談所』
被災者一人一人の心の復活を祈りつづけております

新潟県霊断師会会長(理事)
本妙寺聖徒団团长

小林 義明

〒九五九一〇二二
新潟県阿賀野市中央町一三一一
TEL〇二五〇一六三二八九六二
FAX〇二五〇一六二二二五〇二

長宗寺聖徒団团长

光枝 海元

東京都霊断師会会長(理事)

光枝 浩生

〒一〇〇〇四〇二
東京都新島村本村三一四
TEL〇四九九二一五〇一六八
FAX〇四九九二一五〇一六一

本妙寺聖徒団团长

村口 泰慈

〒七九一三三三二
愛媛県西条市国安四二
TEL〇八九八六六一五四〇九
FAX〇八九八六六一六一六〇

妙法寺聖徒団团长

牛居 一英

〒五四六〇〇四二
大阪府大阪市東住吉区西今川二二二四
TEL〇六六七〇二二二二二四
FAX〇六六七〇二二二二〇〇

岐阜県霊断師会会長(理事)
美濃 常唱寺聖徒団团长

阪口 慈幸

〒五〇一三三三四
岐阜県美濃市千畝町二七三八二
TEL〇五七五三三三二一四三〇
FAX兼用

日蓮宗霊断師会副本部長・聖徒部長
妙法寺聖徒团团長

蔵本 知宏

〒六九八〇〇〇二
島根県益田市幸町一―一七
TEL〇八五六―二二―三〇二六
FAX〇八五六―二二―三〇四八

日蓮宗霊断師会総務部長
照恵寺聖徒团团長

品田 祥皓

〒〇五五〇一〇四
北海道沙流郡平取町柴雲古津二―二七
TEL〇一四五七―二―三二二七
FAX〇一四五七―二―三二七九

日蓮宗霊断師会教務部長
妙親寺聖徒团团長

廣田 学良

〒八七〇〇八三四
大分県大分市上野丘西五―一五
TEL〇九七―五四五―〇七〇八
FAX兼用

日蓮宗霊断師会教宣部長

松本 恵昌

知見会信行寺聖徒团团長
和歌山県和歌山市杭ノ瀬五六―一五
TEL・FAX〇七三―四七―一八二五二
知見会海禅院聖徒团团長
和歌山県和歌山市和歌浦中三―四―二八
(顕彰会事務局)
TEL〇七三―四四七―一八九〇
FAX〇七三―四九九―四九九六

日蓮宗霊断師会霊断院教学部長
顕本寺聖徒团团長

小泉 輝泰

〒二九五〇〇〇二
千葉県南房総市千倉川合六九〇―一
TEL〇四七〇―四四―一〇六二
FAX〇四七〇―四四―一五二四

日蓮宗霊断師会霊断院霊断部長
妙泉寺聖徒团团長

石黒 泰良

毎月、自坊にて「霊断塾」を開催しております。
霊断布教に燃えるあなたをお待ちしております。
詳細は、お問い合わせ下さい。
〒四六一〇〇〇五
愛知県名古屋市中区東横二―一六―四三
TEL〇五二―九三―一八四九〇
FAX〇五二―九三―一八四九一

島根県霊断師会

会長 堀江 泰誠
副会長 新間 信應
事務局 河瀬 真承
梅木 功健
文谷 孝順
役員一同

日蓮宗青森県霊断師会

会長 飛鳥 玄龍
副会長 工藤 泰輝
総務担当 川上 洋行
庶務担当 葛原 主静
会計担当 木立 智大
通信員 山崎 随祥
顧問 工藤 山田 瀧仙
小野 堯幸 泰幹
会員三十四名。

真成寺聖徒团团長
谷川 寛俊

副团长 谷川 寛敬
〒九三七〇八六七
富山県魚津市真成寺町四―一六
TEL〇七六五―二二―二二六八
FAX〇七六五―二二―二二六八

日蓮宗霊断師会京浜教区長(常任理事)
本典寺聖徒团团長

戸田 教栄

〒二五六〇八六一
神奈川県小田原市酒匂三―一―一七
TEL〇四六五―四七―四八一三
FAX〇四六五―四九―三三三二

宮・鹿・沖霊断師会

顧問 吉田 海心
監事 片寄 智雄
会長 吉田 静正
事務局 吉田 憲由
吉田 海心 吉田 貴徳
片寄 白水 裕子
吉田 静正 海野 資子
吉田 憲由 片寄 智康

日蓮宗青森県霊断師会
本東寺聖徒团团長
吉田 海心

日蓮宗霊断師会九州教区長(常任理事)
吉田 静正
〒八八二〇〇六二
宮崎県延岡市松山町一―一三三
TEL〇九八二―三三―一八二七
FAX〇九八二―三三―一八二七

大分県霊断師会

会長 廣田 学良
副会長 飯盛 義教
監事 杉本 顕誠
監事 三ヶ尻 学生
事務局 後藤 正軌
役員 建 光行
廣田 学良 建 栄子
飯盛 義教 三ヶ尻 和生
杉本 顕誠 杉本 尚子
三ヶ尻 学生 廣田 祥子
後藤 正軌 廣田 千城

日蓮宗霊断師会近畿教区長(常任理事)
大阪府霊断師会会長
大阪府龍妙寺聖徒团团長

芦田 勝康

〒五八一〇〇八一
大阪府八尾市南本町三―四―二六
TEL〇七二―九二―一五四六〇

三重県霊断師会会長(理事)
追分教会聖徒团团長

高鍋 鳳憲
〒五〇一〇八八二
三重県四日市市追分二―一五―二
TEL〇五九―三四六―三六七七
FAX兼用

湖北随一法華道場
常昌寺聖徒团团長

早瀬 光玄

〒五二六〇八四一
滋賀県長浜市新栄町四〇二
TEL〇七四九―六二―四四九二
FAX兼用

日蓮宗霊断師会総務部庶務財務課長
長栄寺聖徒团

光枝 妙珠

〒一〇〇〇四〇二
東京都新島村本村三―一―一四
TEL〇四九九―二五―〇一六八
FAX〇四九九―二五―〇一六一

日蓮宗霊断師会総務部組織課長
常唱寺聖徒团团長

阪口 映徳

〒五〇一三三三四
岐阜県美濃市千畝町二七三八―二
TEL〇五七五―三三―一四三〇
FAX兼用

日蓮宗霊断師会教務部指導課長
妙法寺番神聖徒团团長

新間 信應

〒六九〇二四〇四
島根県雲南市三刀屋町三刀屋一―六九
TEL〇八五四―四四―一三六五七
FAX〇八五四―四四―一三六六六

日蓮宗霊断師会教務部講習課長
蓮正寺聖徒团团長

飯盛 義教

〒八七九一五五〇四
大分県由布市挾間町下市五三三六
TEL〇九七―五八三―〇五四六
FAX〇九七―五八三―〇六九八

日蓮宗霊断師会聖徒部事業課長
長榮山妙福寺聖徒团团長

大森 映孝
〒三三九一二二一
栃木県塩谷郡高根沢町亀梨五一―四
TEL〇二八―六七六―一二四七
FAX兼用

日蓮宗霊断師会聖徒部布教課長
七面山道円寺(芦屋の七面様)聖徒团团長

飛鳥 玄龍

〒〇三八一三一一二
青森県つがる市木造川除栄盛七
TEL〇一七三―四二―三二四九
FAX兼用

日蓮宗霊断師会教宣部教宣課長
妙宣寺聖徒团团長

蘆田 恵教

〒六四一〇〇四二
和歌山県和歌山市新堀東二―一―八
TEL〇七三―四二―二七九六八
FAX〇七三―四二―二七九〇五

日蓮宗霊断師会教宣部出版課長
龍雲寺聖徒团团長

吉田 憲由

教誌「よろこび」を読んで
一緒に信仰を学びましょう!
〒八八九一〇〇一
宮崎県児湯郡都農町川北三七二〇



この夏も 家族みんなで お題目

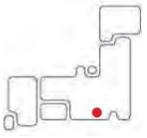
いつも「教誌よろこび」を愛読いただき、ありがとうございます

みなさまからの投稿を募集しています
(体験談・感想文・聖徒さん紹介・全国のよろこびちゃん等)どしどしお寄せください

日蓮宗霊断師会 教宣部



全国よろこび歳時記 名古屋市本成寺聖徒団



四月十九日(日)、名古屋市名東区本成寺聖徒団(天野行淳団長)において『第九回 お寺deフェスタ』が四百名の参加のもと盛大に開催された。第一部では「音楽」で参加者の心を楽しませた。女性コーラス、金管アンサンブル、雅楽、和太鼓、結びに出演者全員による本イベントのテーマ曲「ありがとう」のコーポレーション演奏と多彩な出演者が会場を盛り上げた。

第二部では境内に射的や輪投げ、焼きそば等のブースが登場し、縁日のような雰囲気の中、子供から大人まで思い思いに時間を過ごした。

第三部の祈りのフェスタでは、「幸せの祈り」と題した法要が営まれ、参加者一人一人が手を合わせ、お題目をお唱えした。また団長の「幸せへの法話」では、皆が真剣に耳を傾ける中、涙を拭う参加者の姿もあった。多くの幸せが大きな幸せ、そして真の幸せになるよう祈り、発信し続けてきたこのイベントも、次回で十回目の節目を迎える。来年は天野団長がこれまでに築いてきた仲間と共に、より盛大な『お寺deフェスタ』が開催され、集まった参加者に更なる驚きと感動を与えることだろう。

名古屋通信員 伊藤 秀温



第9回 お寺 de フェスタ

皆様の身近なニュースを(よろこび歳時記)にぜひ、お寄せください!

東京都 新島 長栄寺聖徒団 節題目(ふしだいもく) を身延大会でご奉納



この節題目は波題目とも言われ、約六〇年前日蓮宗に改宗以前のご詠歌の名残をお題目に移したであろうと、推測されます。まわりを海に囲まれた新島においては、お通夜、葬送の出棺、お彼岸、お盆の精霊送りの時に、波のうねりのようなお題目を亡き精霊の追善供養として、そこへ集う人々全員で、唱えられています。この節題目をお唱えする

と、不思議と心の底から感動が湧き上がってきます。又、頭のかぶりものは緋朱(ひつしゅう)といいます。このひつしゅうを頭にかぶることによって、美しく着飾らなくとも、神様、仏様の前での正装をあらわしております。第五十回記念大会にあたり、身延のお祖師様、そして、亡き精霊様へ節題目を捧げていただきました。大会参加者の方々も、初めて聞く節題目に、波のうねりのように、お題目に包まれる感動で涙が止まらなくなるほどでした。



吉野俊幸講師(本会教宣部員)

新緑萌える五月十八日、南房総市顕本寺(小泉輝泰団長)において大黒天神・守護神大祭が執り行われた。午後一時より本堂に於いて四名の修法師が出仕し法味言上、法楽加持が行われた。続いて番神堂に場を移し当会本部員(教宣部員)、和歌山県安楽寺住職吉野俊幸師を講師に一日伝道が開催された。堂内ではおよそ三十名の生徒が聴聞し、時折笑いあり、頷き、感嘆したりと約一時間の充実した法話を聴聞することができた。吉野講師は、縁を育てることの大切さ、縁に気づく大切さを自身の体験などを通じてわかりやすく語った。聴聞した聖徒の一人は「ご本佛様からのみ教えがより身近に感じられる大変良いお話が聞けた。今後の信仰の糧としたい。」と晴れやかな顔で話していた。千葉南部 原頭良通信員

千葉県顕本寺聖徒団「一日伝道」を開催

つながる通信員!

教誌よろこびを共に作成している全国の通信員を毎月ご紹介していきます。



No. 4
茨城県通信員
秋元宏照
秋元宏照

秋元宏照(こうしょう)と申します。茨城県小美玉市の教信坊の住職です。趣味はゲームとドライブです。

小美玉市は茨城空港・百里基地があり、食べ物は苺・メロン・プリンが有名ですよ!茨城から全国の聖徒の皆さんに情報を発信していきます!

第四十七回 日蓮大聖人の歩まれた道

比叡山での修学(その九)

靈断院教学部長
小泉 輝泰

「伝教大師の御弟子慈覚大師、この(真言)宗をとりたて、叡山の天台宗をかすめるとして、一向真言宗になししかば、この人には誰の人も敵をなすべき。かゝる僻見のたよりをえて、弘法大師の邪義をもとがむる人もなし」(撰時鈔)

蓮長が比叡山を訪れてより、既に数年の歳月が流れようとしていました。一心に学問に打ち込む蓮長の学解の深さは、もはや同窓の学僧では肩を並べる者のいないほど優れたものとなっていたことでしょう。それを裏付けるように、秀才の輩出で名



高い華光芳谷の「横川定光院」に住することを許され、そこで俊範よりの教えを請うこととなります。更に驚くことには、南勝房の直轄寺であった東塔円頓房の主座にまで任ぜられるのです。当時の山内において、実力主義が重んじられていたとはいえ、辺国より訪れた田舎坊主が一房を託されることは、おそらく大変な快挙であったといえましょう。また比叡山で身に付けた知識は、何も佛法のみに限ったものではありませんでした。伝教大師は佛法のみならず、若き頃より陰陽道や医法、また工芸なども熱心に研鑽し、それらの知識をも弟子たちに伝授したとされています。また大聖人より後の比叡山学僧「光宗」が

記した『溪嵐拾葉集』には、天台の口伝奥義や法要作法以外にも、医療や算術、歌道や風俗などの文化面、果ては兵法や土木技法に至るまで、様々な事柄が山内では専門的に研鑽されていた様子が記されています。比叡山の学僧は、思い思いに己が必要とする学問を修得することが出来たのです。大聖人は檀越にお与えになる御消息の端々で、ただ経文の論釈のみでなく、世法との対比や比喩、故事や伝記などを巧みに取り入れられています。その膨大な知識は、乳母であった雪女の教育だけでは施せるものではありません。鎌倉での市中見聞を経て、比叡山での修学中に多くの世法を身に付けられたに相違ありません。

後に領家の尼と東条景信との訴訟問題で、大聖人ご自身が弁護役を引き受け、見事尼御前を勝訴に導いたお話は有名ですが、弁護士としての高度な知識や技量とて、ここで培った力が発揮されたものなのです。こうして数年の歳月をかけて多くのものを



学んだ蓮長は、更なる飛躍を求めて、いよいよ諸国遊学への出立を決意します。そこでの主な目的は、まだ目にしたことのない新しい書物の閲覧、そしてこの修学の大きな目的の一つでもあった、真言奥義の研鑽です。既に天台教義の神髄を学んだ蓮長は、清澄山にて「戒体即身成佛義」を記した折の若輩とは違います。この数年間に鍛え上げたその鋭い眼で、法華と真言との真の優劣を見極めるべく、比叡山よりの更なる一步を踏み出すのです。

よろこび法話

お寺を「かけ橋」に ～よろこびの人になろう～



日蓮宗霊断師会近畿教区長(常任理事)
大阪府霊断師会会長
大阪府八尾市龍妙寺聖徒団团长
芦田 勝康

一、お題目・俱生神月守によ りて救われる

「よろこび」とはどのようなものでしょうか。
それぞれに多種多様なよろこびがありま
すが、お題目、法華経の信仰をもととして
いる聖徒の皆さんには、「いつもご本仏さ
まから守られている」という、よろこび
が心の深いところにあることでしょう。時
には、それを忘れて、不安になってしま
うこともあるかもしれませんが、折に触れて、
変わらぬご守護を感じるはずですよ。



そのご恩を知り、ご恩に報いるには、ご
本仏さまの願いを知ることから始まりま
す。

寿命品に云く、「毎に自らの念を作す、
何を以てか衆生をして、無上道に入り、速
やかに仏身を成就することを得せしめん」と。
(中略)

此等の現文は、釈迦如来の内証は皆此の経
に尽したまう。『守護国家論』

ご本仏さまの願いは、すべての衆生を仏
にしたというみ心です。それを叶えるた
めに、日蓮大聖人はご生涯を通して、要法
の実践を自らの信心で体認し、実現してゆ
かれました。

「天晴れぬれば地唄らかなり。法華を識
るものは世法を得べきか。法華を識
るものは世法を得べきか。法華を識
るものは世法を得べきか。」

一念三千を識らざる者には、仏大慈悲を起
し、五字の内に
此の珠を裏み、末代幼稚の頸に懸けしめた
まう。』

全ての衆生を救いたいというご本仏さま
の大慈大悲は宝珠であり、お題目の内に裏
まれています。ここで説かれている宝珠を
頂くために、首に懸けたる「俱生神月守」
なのです。

ご守護は変わらず注がれていても、信心
の強さによって受け方が違います。お題目
を唱え、俱生神月守を着帯すれば、時に揺
らぎやすい心は支えられ、強盛な信心を持
つことができます。その信心が私たちがご
本仏さまと繋ぎ、守護を受けるべき宝珠
を持った人がここにいるのだと知らせてく
れるのです。

その救いは、信仰を続けていくことで顕
れてきます。お寺の盛運祈願会、信行会、
その他のご法要に参詣し、読経口唱(お経
文を読み、お題目を唱える)を修行し、聞
法歓喜(法を聞きよろこびを感じる)し、
信心を深めていくことが肝要です。

二、九識霊断法によりて救われる

私たちが生きていくこの世界は、苦しみ
あり、悩みあり、試練が時に大きな壁となっ
て立ちはたかる修行の場です。

そんな時は、「九識霊断法」による救い
を頂きましょう。

当山でも、老若男女を問わず、悩み苦し
みを抱えた方が九識霊断法を受けられ、ご
本仏さまのお力で先行きを見通し、苦し

みの原因を紐解いて
いきます。長年信仰
を続けられている方
は、親・子・孫の三
世代で日常生活のあ
らゆることにお導き
を頂いています。



また、これまで信
仰したことがなかつ
た方や、どうしても
救われなくて他の宗教や、色々なものを採
り求めた末に、ようやくお題目に出会えた
という方もご縁を頂いています。

そのような方は、本当に一から信仰を始め
られるのです。初めてお題目をお唱えされ、
少しずつお経を唱えていきます。そして、
大曼荼羅ご本尊をお授けし、過去帳や、ご
位牌を整えていく。その一歩、一歩を共に
噛みしめながら進んでいくのです。

最初はご家族の中のひとりが、思うところ
あつて始められるのですが、お題目の力
はやはり強く、俱生神月守を着帯し、祈る
ことにより、ばらばらだったものが繋が
りを取り戻していきます。お寺で癒されて
帰れば、家族にも優しくできます。困難が
あつても一緒に乗り越えていくことができ
ます。

まるで初心者がスポーツを覚えていくよ
うに、できることが増えていきます。信仰
に対して「ここまでしかできない」と思っ
ていたことが、「もっとお題目をお唱えし
よう」「毎月行事に参加しよう」「お寺を護
ろう」と意欲が湧いてきて、どんどん限界
が突破されていくのです。それによって、
一年後、二年後には振り返れば必ずぶん変
わったと思えるようになっていきます。そし
て、あらゆることに立ち向かっていく強さ
がでてきます。

その姿は、それまで信仰を続けてこられ
た聖徒の皆さんにも大きな感動をもたらす
のです。

三、みんなを繋ぐ「かけ橋」

ひとりの「よろこび」は家庭に繋がり、
やがて社会全体へと広がっていくのではな
いでしょうか。お題目の信仰によって場所
や時間を越えてご縁を繋ぎたいという思い
が、当山でも着実に形になっていきます。

大阪のみならず、他府県の方からもご連
絡を頂くようになり、電話やメールを使っ
てご相談をお受けし、信仰の証である俱生神
月守を郵送でお受けするようになりました。
信仰という共通の志があれば、共に成長

し、みんなを繋ぐ「かけ橋」となることが
できます。そうしてご本仏さまのご恩に報
いる「よろこび」は、何ものにも代えがた
いのです。

四、「よろこび」を分かち合おう

あなたの「よろこび」もみんなの「よろ
こび」に繋げて下さい。地涌の菩薩として、
悩んでいる人に自ら声を掛けてあげましょ
う。心配している気持ち声を声に出し、「お
寺で相談に乗ってくれるから一緒に行きこ
う」と連れ出してあげることです。

そして、今、これを読んでいるあなたが、
胸に秘めた苦しさを抱えているなら、ご本
仏さまのお救いの手は、もう差し伸べられ
ています。あとは、勇気を出すのみ、どん
なことでもかまいません、まずはお話しし
てみましょう。いつでもあなたをお待ちし
ています。

全国のよろこびちゃん vol.15



栃木県
妙福寺聖徒団
平成 20 年 5 月 18 日生 (7 歳)
高橋 明衣菜ちゃん
平成 24 年 2 月 19 日生 (3 歳)
高橋 祐紀ちゃん

『パパとママが一生懸命おまいりして私たちが無
事に生まれました。今年、小学生と幼稚園生に
なりました。元気に楽しく通っています。毎月家
族でお守をいただきにお寺にお参りするのが楽
しみです♪』

全国のよろこびちゃん vol.16



和歌山市
安楽寺聖徒団
平成 23 年 11 月生 (3 歳)
森本 航世くん

『毎月のお守りさんのお蔭で授かった息子
です。すくすく大きくなっていま～す。』

全国のよろこびちゃんを募集しています！

砥森山
法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國隨一
三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団
团长 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定

仏壇・仏具 仏像彫刻
内陣莊嚴具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12
電話 03 (3843) 6951
FAX 03 (3843) 6973
定休日 日曜日

利生寺

日蓮宗霊断師会会長
利生寺聖徒団团长
末吉 観道
副团长
末吉 正道

〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10
TEL 076-421-8776 FAX 076-421-8250

正蓮寺

日蓮宗霊断師会 副会長
日蓮宗宗会議員
正蓮寺聖徒団 团长
大塩 孝信

〒290-0151 千葉県市原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207
FAX 0436-52-2288